

# フェイシャル治療 同意書

当院のレーザー治療の器械は、メラニンによく吸収されるレーザーです。そのため、お顔のそばかすやシミといった色素斑へ反応し色調の改善が期待される治療になります。また、皮膚のコラーゲンにも刺激を与え活性化させることで肌のキメを細かくしたり、ハリをもたせることも期待できます。1ヶ月間隔での数回の治療で効果を感じる方、1回の治療で効果を感じる方もいらっしゃいます。このレーザーでのフェイシャル治療では、治療直後にわずかな赤味や腫れが生じることがありますが、肌に傷をつけないことがメリットです。治療後は日常的なスキンケアが必要になります。

## 治療が受けられない方

下記の病気や症状がある方、下記薬剤の使用中的の方は治療を受けられません。

- 光過敏症 金製剤 金の糸 単純ヘルペスⅠ型、Ⅱ型の活動病変 治療部位の癌  
治療部位の感染 全身状態が不良 異所性蒙古斑の部位 太田母斑の部位 等  
※妊娠中の方は安全性が確立されていません。医師にご相談ください。

## 治療に注意が必要な方

下記の病気や症状がある方、下記薬剤を使用中的の方は医師の判断によって治療が受けられない場合があります。

- てんかん発作 ケロイド、癬痕体質 免疫抑制剤 ステロイド製剤  
単純ヘルペスⅠ、Ⅱ型の活動病変 癬痕化した刺青や色素性疾患 糖尿病等の慢性疾患

## 期待できる効果

- ・くすみの改善 ・毛穴のひきしめ ・肌質の改善 ・産毛の減少

## 治療前後の注意事項

- ・レーザー照射は4週間間隔になります。治療期間中の日焼けは禁止です。日焼けした肌にはレーザーは熱傷のリスクが高くなるため照射できません。レーザー照射後の日焼けは、色素沈着を起こすリスクが高くなります。
- ・レーザー照射前にはお化粧を落とし、何も皮膚についていない状態で照射を行います。皮膚に化粧成分（化粧水等も含む）が残っているとその成分にレーザーが反応し、熱傷を起こすリスクが高くなります。
- ・レーザー照射後は皮膚の乾燥が生じますので、スキンケア商品で保湿を行って下さい。
- ・レーザー照射後、皮膚の赤味、腫れが落ち着いたらお化粧はされてかまいません。
- ・紫外線から皮膚を守り、日焼けを予防するために日焼け止め（SPF30以上）をご使用ください。

## 副作用について

- ・初回、2回目レーザー照射後に吹き出物やブツブツした肌荒れが生じることがあります。レーザー照射によりターンオーバーが早まり、皮下にあった皮脂等が一斉に出てきていると考えられます。この症状は2週間程度で自然に治ります。
- ・メラニンの濃い部分に強く反応した場合、軽度のかさぶたができる可能性があります。その場合、ワセリン等の軟膏を塗るなどの自己ケアが必要な場合があります。自己ケアについてはその都度医師より説明いたします。
- ・シミの中にかくれて肝斑がある場合など、レーザー照射によって一過性にその部分の色素が濃くなる場合があります。

※患者様のシミのタイプ、体質、体調等によって効果は違ってきます。治療回数、期間も患者様一人ひとりで違ってくださることをご理解ください。

以上

飯田橋中村クリニック院長殿

私は、上記の内容を理解し、フェイシャル治療を受けることに同意致します。

年 月 日

氏名